

社会学・人類学
—多様性・公平性・包摂性 (DEI) 政策—

担当者氏名：クロッカー・ロバート
(2024年度はヨーロッパで研究休暇中)

1. プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

(1) 多様性・公平性・包摂性 (DEI) 政策とは何か？

どの社会においても権力及び経済的・社会的資源へのアクセス格差は存在します。例えば、日本では、障害者、女性、若者やLGBT+等の人々は職場での昇進、所得、住宅の賃貸や購入のためのローン利用において他者より社会的に不平等な立場にあるという現状があります。

近年注目を集めている多様性 (D) ・公平性 (E) ・包摂性 (I) 政策は、これらの人々を差別や嫌がらせから保護し、経済的支援およびその他の支援を提供することにより、機会格差の解決を目標としています。日本におけるDEI政策は国際法と国内法の両方で義務付けられており、あらゆる社会的環境で見られます。学生と教員、患者とその家族、住民と公務員、顧客と従業員のためにDEI政策が設けられています。

(2) なぜ DEI 政策を学ぶべきなのか？

DEI 政策の影響は誰もが受けていますが、気づいていないかもしれません。あなた自身が(目に見えない)障害者、女性、貧困層の出身者、孤児、留学生、LGBT+であるかもしれません。または、周囲にそのような人がいるかもしれません。認識しているかどうかに関わらず、高校や南山大学で、病院を受診した時、住んでいる町で DEI 政策の影響を受けてきたことと思います。また、将来、会社で働き始めるときにも影響を受けることでしょう。DEI 政策の実施や新しい政策の作成に携わることがあるかもしれません。DEI 政策とその論点及び立案の方法について学習することにより、DEI政策に関する知識がある被雇用者および市民となり、周囲の人々や自身を守ることできます。

このゼミで学ぶこと

- ① DEI 政策の歴史と基本原則を学びます。
- ② 日本やその他の国における障害者、女性、貧困層、孤児、外国人、LGBT+、その他のグループの人々に対する DEI 政策を解析します。
- ③ 各DEI 政策を評価、課題解決についてディスカッションを行います。
- ④ 多様性、公平性、包摂性が普遍的であるべきか、文化特有であるべきかを探ります。

どの国の DEI 政策に焦点を当てるのか？

日本とヨーロッパ諸国、特に欧州連合 (EU) 諸国を比較する。また、東アジア、東南アジア、北米諸国の DEI 政策についても学習します。

このゼミには誰が参加するのか？

総合政策学部の日本人学生と留学生（タイ人、インドネシア人、フィリピン人、韓国人、台湾人、中国人など）です。

ヨーロッパ諸国の学生と定期的にオンラインディスカッションを行う。外国人留学生別科（アメリカ人、ヨーロッパ人など）の短期交換留学生も定期的にゼミに参加します。ディスカッショングループには通常、少なくとも2カ国の学生が参加します。

ゼミでは日本語と英語のどちらを使用するのか？

授業資料は日本語だが、授業でのディスカッション、プレゼンテーション、レポート、卒業論文などは、日本語か英語のどちらかでを行います。

2. プロジェクト研究の進め方

(1) 3年次（2025年度）

3年次の主な目標は、DEI 政策に関する知識と理解を深めることです。

3年次 Q1: DEI 政策の歴史と基本原則に関する入門書を読み、日本と他国の DEI 政策例を学びます。

3年次 Q2: 「多様性と文明」学科科目を受講: 日本及び世界の様々なマイノリティの歴史と現状を学びます。「Fieldwork Methods」学科科目を受講: 日本語と英語によるインタビュー技法とアンケート作成法を学びます。外国人留学生別科の交換留学生もこの科目を受講します。

3年次 Q2-Q3: 障害者、女性、貧困層や宗教的少数派の人々、孤児、外国人、LGBT+の人々などへの支援を目的とし開発された DEI 政策に関する書籍の章や学術論文を読みます。DEI 政策を普遍主義と特殊主義の観点から検討します。

3年次 Q4: 1月に開催される学科内ゼミ発表会に向けて、3名程の小グループで一つの DEI 政策について発表の準備をします。「Academic Path English」学科科目を受講: 学科内ゼミ発表会の学術リソースを集めるために、日本語と英語の研究論文を探す方法を学びます。

(2) 4年次（2026年度）

4年次の主な目標は卒業論文制作です。

4年次 Q1: 研究テーマを決定し、先行文献を読み始めます。

4年次 Q2-Q4: 毎週授業前に、一つか二つの先行文献を要約し、授業内において、2～4名程の小グループでその要約を説明し、ディスカッションを行います。

4年次 Q4: 12月初旬に開催される学科内ゼミ発表会で卒業論文の口頭発表を行います（論文提出期限は1月20日）。

(3) 卒業論文テーマの選択方法

このゼミでの卒業論文テーマ選択は簡単です。特定の DEI 政策のケーススタディを一つ行うのみです。以下の3ステップに沿って行います。

ステップ1: 関心のある一つのグループ(若者、女性、障害者、LGBTQ+等)を対象とした DEI 政策を選択します。

ステップ2：ステップ1で選択したグループ構成員について、学習、就労及び雇用、その他生活の場といった社会的環境を1つ選択します(学校、病院や福祉施設、会社や政府機関、市町村、等)。

ステップ3：調査対象国を1つまたは2つ選択する(例：日本、イギリス、日本とヨーロッパの国の比較、など)。

調査例：日本の大学に通う障害のある学生；日本人女性の管理職登用；イタリアとスペインで働く若い親；日本と台湾の企業で働く外国人労働者；スウェーデンの高校に通うLGBT+の学生；欧州連合(EU)の政府機関で働く女性

3. プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

* 3年次には指導教員が担当する科目(「Q2: Fieldwork Methods」「Q2: 多様性と文明」「Q4: Academic Path English」)を必ず履修すること。履修できない場合には、事前に指導教員の許可を得ること。

* このプロジェクト研究を希望する学生は、原則、3年次のQ2に開講される総合演習B(担当：クロッカー・ロバート)を履修すること。(やむを得ない理由で履修が難しい場合には相談すること)。

* このプロジェクト研究を希望する場合には、いずれのコースを履修しても構わない。

* 短期留学を考えている学生も是非。

4. プロジェクト研究開始までの準備

指定する書籍等を読み事前学習をする。

5. その他

本プロジェクト研究は次のような学生に適している：

- (1) 他者がどのように考え、どのように世界を捉えているかについて理解したい学生
- (2) 自身が興味ある内容を研究できる学生
- (3) 積極的に留学生と交流したい学生

6. 選考方法・連絡

- (1) 選考は、学部所定の志望理由書と個別面接を総合して判断する。
- (2) 面接はZoomで行う。
- (3) 詳細については、プロジェクト・アワーで説明する。
- (4) プロジェクト・アワーに参加していることを選考の前提条件とする。
- (5) 質問のある学生はcroker@nanzan-u.ac.jpまでメールのこと。